

第 1 9 7 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 7 年 5 月 1 5 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 9 7 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 7 年 5 月 1 5 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 2 階 「 共 用 会 議 室 DE 」

出席者：

公 益 委 員	上原委員、豊川委員、大城委員
労 働 者 委 員	大城委員
使 用 者 委 員	桃原委員、亀谷委員

沖縄総合事務局	宇久田船舶船員課長、 宜名真海事振興・防災危機管理調整官、 宜保課長補佐、 桑江係員
---------	---

議 事 次 第

○開 会

○議 事

1. 第 1 9 6 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○閉 会

(配 付 資 料)

- | | |
|--------|---|
| 資料 1 . | 第 1 9 6 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案) |
| 資料 2 . | 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 7 年 4 月 分) |

- 参考資料 1 . 令和 6 年度 卒業者 進路 状況 一覧表 (沖 縄 水 産 高 校 ・
宮 古 総 合 実 業 高 校)

上原部会長

定刻でございますので、第197回船員部会を始めさせていただきます。本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（桑江）

本日は、公益委員3名、労働者委員1名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

上原部会長

それでは、まず初めに、前回、第196回の議事録の承認を諮りたいと思いますが、お手元の議事録案をご確認いただき、何かご質問はございますか。

原案のとおり承認してよろしいですか。

～ 各委員より「はい」の声 ～

上原部会長

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の2「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願いいたします。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（宜保補佐）

令和7年4月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

● 求人状況について

新規求人数は5件でした。

新規求人における内訳としては、

砂利運搬船に係る県内事業者1社より、機関士1名、航海士1名

小型鮪延縄漁船に係る県内事業者1社より、甲板員1名、

RORO船に係る県内事業者1社より、司厨員2名、

前月に比べ1件増加、また、前年同月に比べ3件増加となっております。

月間有効求人数は19件でした。

前月に比べ1件増加、また、前年同月に比べ24件減少となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等18件、漁船1件となっております。

月末未済求人数は１０件でした。

●求職状況について

新規求職数は７名でした。

前月に比べ２名減少、また、前年同月に比べて４名増加となっております。

新規求職数の内訳は、商船等６名、漁船１名となっております。

●新規求職した者の退職理由又は求職理由別内訳について

４月の新規求職者７名の退職理由は、定年又は期間満了が５名、海上勤務中の転職希望が１名、陸上勤務中の転職希望が１名となっております。

新規求職した者が所属していた会社所在地は、管内が６名、管外が１名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は２２名でした。

前月に比べ２名増加、また、前年同月に比べて８名増加となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等１８名、漁船４名となっております。

月末未済求職数は１７名でした。

●成立状況について

４月の成立は１件でした。

●求人倍率について

４月の月間有効求人倍率は、０．８６倍でした。

前月に比べ０．０４ポイント減少、前年同月に比べ２．２１ポイント減少となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は１名、支給延べ件数は１件です。

以上、令和７年４月分の管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問などはございますか。

豊川委員

よろしいでしょうか。前回も多分同じような質問をさせていただいたと思いますが、月間有効求人数ですけれども、去年の１２月ぐらいから暮れの時期にずっと下がったままで、今年は１９、１８、２０、このあたりを推移していて、昨年や一昨年はもう少し高い４０あたりだということだったんですけれども、何かこの間は求人の入れ替えというか、タームの切り替え時期というようなお話をいただいたかと思いますが、これは特に今年に入って何か違いがあるのでしょうか。思ったより長く続いているなと思ひまして。

上原部会長

前回の議事録を見ている、角委員が同じような求人倍率の件で質問されていましたが、今回もまたさらにちょっと低くなっているというところがありますが何か要因があるんですか。

事務局（宜保補佐）

月間有効求人倍率については７ページにございますとおり、１１月４、１３からちょっと減少傾向。３月に比べまた減少になっております。求人数も落ち着いている感はございまして、その反面、求職数が６ページにもありますとおり、月間有効求職数が増えていることもあって、それで有効求人倍率が減少傾向を示しているかなという感があります。

求人数については、継続して求人を出されている事業者さんもいるんですけども、他に目新しく求人数はちょっと出ていないのか、もしくは人を探してもこちらに求人票を提出し忘れていないのか分からない点もあるので、減少傾向についてはまだ、実際正しく反映されているのか分からないところもあるんですけれども、これが一時的な傾向を示しているのか。今後の状況を注視していきたいと思っております。

上原部会長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

豊川委員

はい、ありがとうございます。

上原部会長

他に何かご質問等がありますか。ないようでしたら議事の３番、意見交換に移りたいと思います。何かご意見等はお持ちでしょうか。ないようでしたら、配付資料の説明をまたお願いしてよろしいですか。

事務局（桑江）

前回の船員部会で資料配付させていただきました令和6年度の県内水産高校の卒業者進路状況一覧につきまして、上原部会長と柴田委員からご質問いただいた内容の回答をさせていただきます。

資料につきましては前回と同じものになるのですが、今回「参考資料1」として配付しておりますのでそちらをご確認ください。

一つ目が上原部会長からいただきました令和6年度の女子生徒の卒業者数についてのご質問につきまして、学校に確認したところ沖縄水産高校につきましては、専攻科の漁業科から1名卒業されているようで、県外の内航貨物船に就職されたとのことでした。本科におきましては、航海類型から1名、機関類型から1名が卒業されているようで、航海類型の生徒さんは海洋関係ではない県外の大学へ進学、機関類型の生徒は沖縄水産高校の専攻科に進学されたということでした。

宮古総合実業高校につきましては、令和6年度は女子の卒業生は0名ということで伺っております。

二つ目、柴田委員から御質問いただきました沖縄水産高校の専攻科の無線通信科の卒業生7名全員が陸上の職に就職しているが、その就職先について質問をいただいていたのですが、こちらも学校に確認したところ、県外の通信関連企業に4名、県内の電気設備系のシステムエンジニアリング企業に2名、県内の電気・通信設備施工企業に1名が就職されているということで回答をいただいております。以上になります。

上原部会長

ありがとうございます。何か今の説明で質問ありますか。

豊川委員

質問ではなくただの雑感ですけど、高校入学数と卒業者数が6名の違いがあるんですが、これってドロップアウトなのかなとか。最近、大学の退学率が問題になっていまして、それとも留年なのかなという。60人の6人といったら、結構な実はパーセンテージになるので、もったいないなと思ったところです。以上です。

上原部会長

ありがとうございます。転校かもしれませんね。他に何かございますか。それでは、事務局から次回開催についての連絡等をお願いします。

事務局（桑江）

6月の船員部会は、6月19日木曜日、当局5階の海技試験室で11時から開催いたします。後日、改めて案内の文書をメールで送付いたしますので、ご出席できない場合は事前に事務局までご連絡をお願いいたします。

また、今回の議事録案につきましても後日メールで照会させていただきますので、ご確認をお願いします。

上原部会長

ありがとうございます。それでは以上をもちまして、本日の部会を終了といたします。お疲れ様でした。